

特集

OSCEに備える! アップデートする!

OSCE (Objective Structured Clinical Examination、オスキー) とは、医療者教育における学生の臨床能力を客観的に、公平に評価するための試験です。特に医学・歯学教育では、2023年にCBTと共に公的試験化され、臨床実習に進む学生の知識・技能・態度の質を保証する役割を果たしています。

看護教育においては、教育課程や学校設立母体といった背景の違いや、施設・予算・人員の諸条件、何より個別性の高い看護を客観的評価する難しさもあり、現時点でOSCEの全面的な導入には至っていません。しかしながら、OSCEを先進的に導入・運用し、そのデザインやノウハウを構築し、目的についても常に見直ししながら実施している養成所もあります。

本特集から、教育者がOSCEを通じて目指したいものは何か、実践校がどのような経緯でOSCEを始め工夫を重ねてきたか、他領域の動向を知ること、従来とは異なるOSCEの印象を抱ききっかけとなれば幸いです。また、すでに実施している教育機関においても、情報交換の機会となることを願っています。